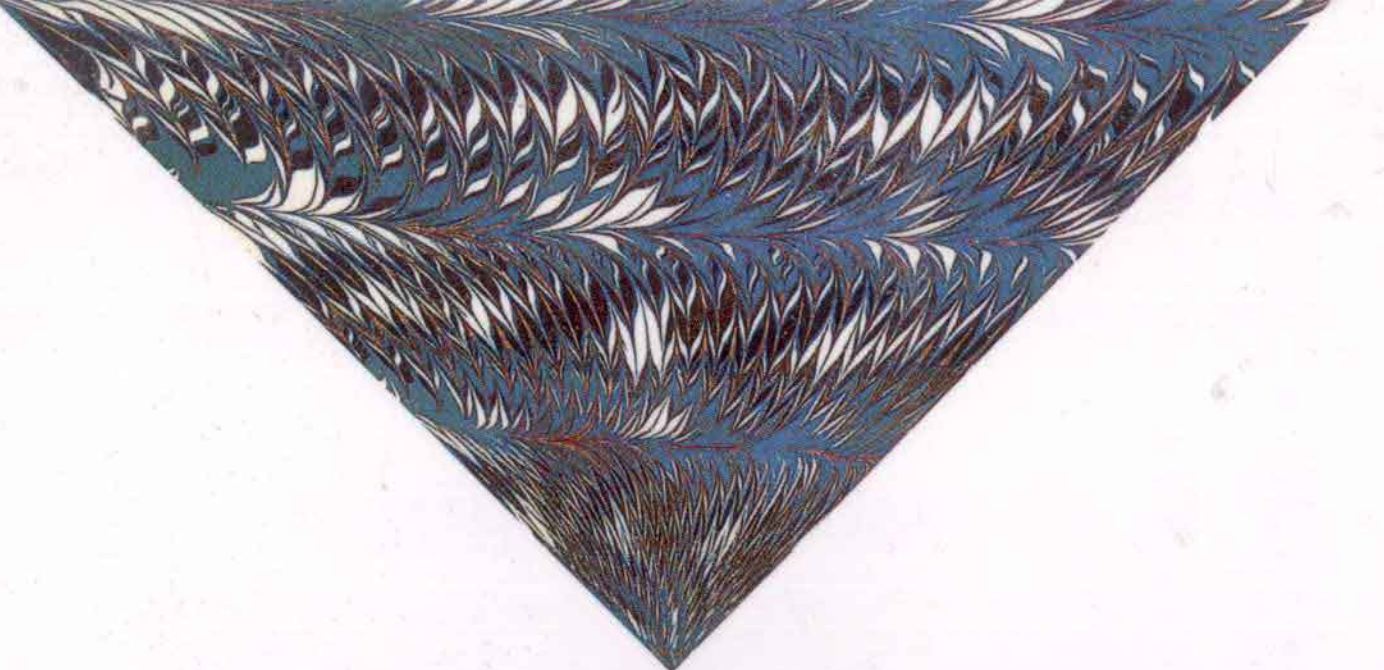
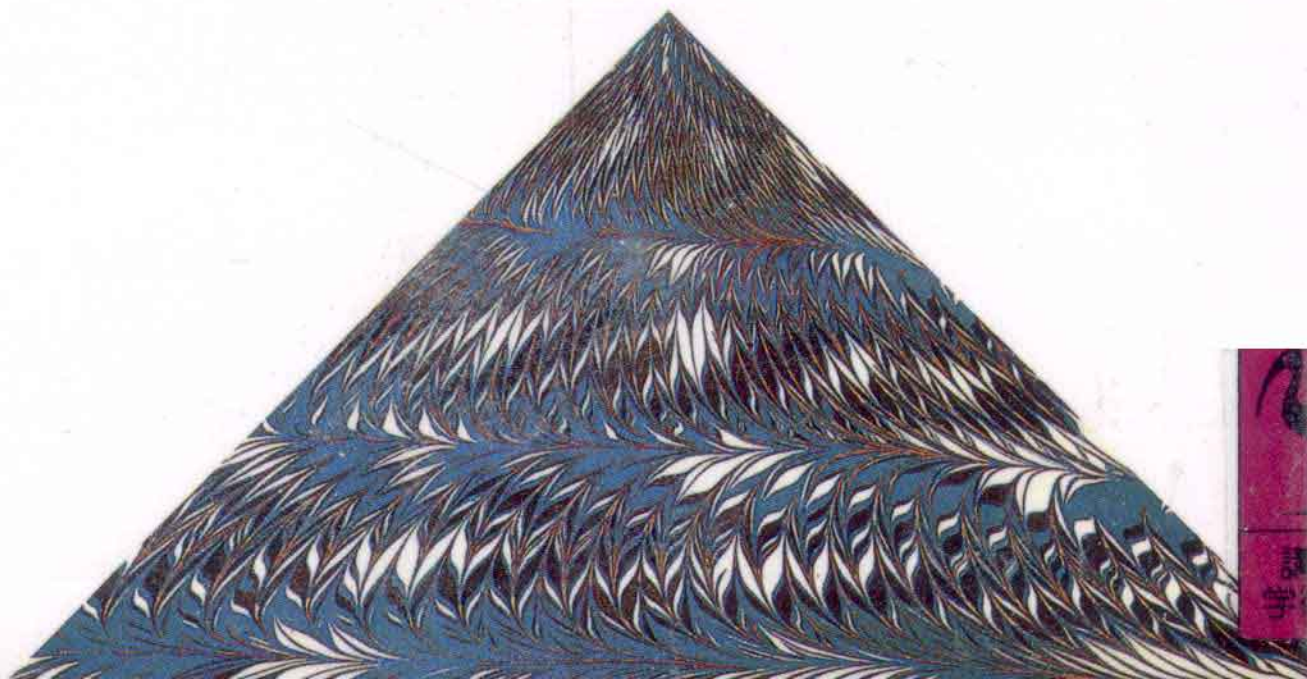




# 引用句辞典の話

加島祥造



加島祥造（かじま しょうぞう）

1923年東京生まれ。早稲田大学英文科卒。カリフォルニア州クレアモント大学院留学。信州大学、横浜国立大学を経て現在、青山学院女子短期大学教授。専攻は英米文学。著訳書に『評伝フォークナー』、フォークナー『墓地への闖入者』『八月の光』、ヘミングウェイ『日はまた昇る』、リチィ『現代アメリカ芸術論』等。学術文庫に『英語の辞書の話』がある。



講談社学術文庫

定価はカバーに表示してあります。

---

## 引用句辞典の話

加島祥造

1990年9月10日 第1刷発行

発行者 野間佐和子

発行所 株式会社講談社

東京都文京区音羽2-12-21 〒112-01

電話・東京(03)945-1111(大代表)

装 幀 蟹江征治

印 刷 株式会社廣済堂

製 本 株式会社国宝社

© Shozo Kajima 1990

Printed in Japan

落丁本・乱丁本は、小社書籍製作部宛にお送りください。送料小社負担にてお取替えします。

なお、この本についてのお問い合わせは学術文庫編集部宛にお願いいたします。

---

ISBN4-06-158940-7

(庫術)

# 引用句辞典の話

加島祥造

講談社学術文庫



# 目次

## 凡例

..... 7

## 序の章

..... 11

## I 引用句辞典の話

### 1

まず巻頭句のことから ..... 19

### 2

ひとつの挨拶 一夜漬けと引用句辞典 ..... 35

### 3

「過去と現在の話」 ..... 42

1 四人の現代作家 42

2 「過去」と「現在」の項を引く 59

|    |                   |     |
|----|-------------------|-----|
| 4  | 「知恵の宝の山」          | 72  |
| 5  | バートレットと共に         | 82  |
| 6  | 三つの大型辞典           | 104 |
| 1  | ひとつの歴史            | 104 |
| 2  | ステイヴンソンとオクスフォード   | 113 |
| 7  | 個性的な中型の辞典         | 121 |
| 8  | 現代の言葉の海へ          | 141 |
| 9  | 引用句 QUOTATION とは? | 168 |
| 10 | 出典の正確度・誤引用        | 174 |
| 11 | 出典の海へ返す           | 189 |
| 12 | 英文の中の引用句          | 197 |
| 13 | よもやま話 周辺の辞典をめぐって  | 223 |

|   |                |     |
|---|----------------|-----|
| 1 | 前後関係を教える辞典     | 223 |
| 2 | 引用句が辞典に見つからぬ場合 | 227 |
| 3 | 主題別索引の使い方      | 231 |

## II ユーモア引用句辞典の話

|   |           |     |
|---|-----------|-----|
| 1 | 英米人のユーモア観 | 239 |
| 2 | ユーモア諸辞典   | 252 |
| 3 | 裁判官と頭取の仕事 | 266 |

## III 現代の私たちと引用句

|  |            |     |
|--|------------|-----|
|  | 現代の私たちと引用句 | 285 |
|  | 結びの章       | 308 |

|           |            |     |
|-----------|------------|-----|
| 原本あとがき    | .....      | 322 |
| 学術文庫版あとがき | .....      | 324 |
| 解説        | ..... 和田 旦 | 328 |
| 引用句辞典リスト  | .....      | 340 |

## 凡例

一、各辞典は、本文中に最初に挙げられる時に通し番号を付し、編者名、題名、刊行年（原則として初版の刊行年）の順に出来るだけ簡略に記載した。

一、各辞典名が本文の中に再び言及される時は、最初にしるした通し番号と略称が再び用いられる。

一、各辞典の題名その他の必要項目は巻末の引用句辞典リストに記載してある。



# 引用句辞典の話

**“Omne tulit punctum, qui miscuit utile dulci.”**

## 序の章

英語の引用句辞典は現在、非常に発達したものになっています。しかしその歴史はさほど古くはなくて、まず最初の目立つ辞典は一七六一年に英国で出たものです（オリバー・スミス編『詩歌集』 Oliver Smith: *A Poetical Dictionary, or the Beauties of English Poets, Alphabetically Displayed.*）。アメリカでは一八五五年にバートレットの辞典の初版が出て、発展するのはこのアメリカの系統のほうなのですから、引用句辞典の本格的な発展の歴史はここ百三十年ほどのことだと言えます。

私は最初に、英語の引用句辞典が非常に発達していると書きましたが、これは諸外国の辞典と比べての断言ではありません。独・仏にも引用句辞典はあり、中国古典のための引用句辞典もありますが、私はそれらとの比較からではなく、日本の現行の名言辞典類と比べて言ったのでした。

実際、日本と英米の引用句辞典を比べると、そこには非常な違いがあります。大人と子供ほどの違いがあります。日本にも大正期までは、中国古典に関するかぎり、なかなか詳細な

引用句辞典がありました。それがすたれたあとは、ごく貧弱な名句辞典・金言辞典といったものがあるきりで、現代生活に広く深く役に立つものはなくなりました。といって西欧文明からの言葉が訳され愛用されたわけではなくて、そこに一種の空白状態が生じたまま、五十年の歳月がすぎて現在にいたっています。

この空白に気づいたのは、英語の引用句辞典界が発達していることを考えた時からです。そして前著『英語の辞書の話』（講談社、一九八一年）では、第九章「諺・引用句辞典」を書く時、この点にかなりの筆をついやしましたが、ページ数の関係でそのほとんどを削ってしまい、あの本ではごく短い章になりました。五年後のいま、機会がおとずれて、ゆっくり英語の引用句辞典について語ることになり、その結果がこの本なのです。それゆえ、これは『新・英語の辞書の話』とも呼ばれるわけですが、実際には引用句辞典だけの話です。そのことをまずお断りしておきます。

しかしこれは辞書の話なのですから、いかに辞書を使うかという実用的な面をなおざりにできません。前著では辞書の効用と限界についてはつねに気を配って、時おりは自分の経験をまじえつつ、その実用面を語りました。この引用句辞典でもその点に心掛こころがけようと思っています。

しかしまた前著は言葉について人文的興味から書くという態度を持ち、時には興に乗って

脱線したりしました。その度合が今度の話ではさらに強まると思います。というのも引用句辞典の内容は知恵と面白さに満ちているものなのであり、そのなかをさまよい歩くとなると、辞書の実用面のことはついなおざりになりがちだからです。それでそういう傾きの強い本文にはいる前に、まずここで引用句辞典の実用面を箇条書きにして出すことにします。こういう箇条書きは、書店の広告宣伝文と同じで全く退屈きわまるものですから、まず最初に出して早く通過することにします。読者もざっと眼を通すだけにしておいて下さい。またそれらの各箇条の効能を、いま信じておいて結構です。本文のなかの私の言説を読んでから、この各箇条のいくつかに、その通りだと思ってもらえればよいのです。

一、英語の文章やスピーチに引かれた引用句の出典を知ることができる。出典とはその句の作者、作品、発表年度などであり、それを知ること、原典に当ることができる。さらに原典を読む方向にすすむこともできる。

一、うる覚えの引用句や、ひとからマタ聞きした引用句、間違った引用句を正しく確かめることができる。

一、ひとつの主題について、さまざまな見解や考え方を知ることができる。ここで言う主題とは愛、教育、死といった大きなものばかりでなく、ほとんどあらゆる主題に及ぶ。

そうした主題について古今の人の見解や考え方を知りうる。

一、ひとつの主題について、過去の人と現代の人の考え方を比較できる。

一、ひとつの主題について、文学者と科学者と政治家の考え方を比べることができる。

一、ひとつの主題についての考え方を、幾世紀にもわたって歴史的に辿ることができる。

一、世界の賢人たちと、誰にも邪魔されずに、対話ができる——それもあらゆる話題にわたって——。

一、スピーチや作文において、適切な言葉を見つけることができる。スピーチとは一国の首相の就任演説から、友人の結婚式でのスピーチまでをふくむ。作文とは高度な創作から、ごく身近な手紙文までをふくむ。

一、自分の考えを強調したり印象づけたりするのに、ひとの言葉を引くことができる。

一、自分の考えや文章が行きづまった時に、引用句辞典を読むと、道のひらけることがある。

一、自分のスピーチや文章に権威や重みを持たせたい時に、ひとの言葉を利用できる。

一、多くの語彙や言葉を身につけたい時に、引用句辞典をよく読むことは非常に役に立つ。

以上、教養と実用の上で英語の引用句辞典が役立つ諸点を要約しておきましたが、これら

は英語の引用句辞典をそのまま使う人々のための利点です。しかしもう一つ、日本人の読者にとって役立つ点があります。それはこれが私たちの英文読解の役に立つ好材料である、という点です。とくに若年層ではなくて、成年の人々にとって、これはよい材料だと思います。英語を自習したい人、忘れまいとする人には、引用句辞典はつねに役立つはずです。第一に、言葉が短い。そこには硬軟深淺、難易繁簡、実に多様な句がある。で、誰でも自分の英文読解力に応じて英文の句を選ぶことができます。しかも自分の読解した言葉は、それぞれに意味の深い面白いもの、教訓になるもの、思想や詩心を豊かにするものです。そういう意味ではそれらは単なる英語学習の材料に終わらないで、自分の人生経験や人生観に資するものともなります。

日本の英語教科書は、近年、内容が非常に浅くなり空疎くうそになってきたようです。言葉を技術視しすぎるくらいがあります。しかし英語を学ぶ本来の目標は英語を読むことではなく、英文を読むことでさえなく、英語で表現された考え方を読みとることです。それが本当の読み方なのです。そして英語で表現される考え方や発想の方法は実に多様であり、それらの多様な表現の万華鏡が引用句辞典なのですから、学ぼうとする人には、そこに限りない好材料が見つかるはずです。

そういう考え方もあったので、この本文では引用句に英文をそえました。それらの英文は、